

**太陽光発電の2019年問題とは、どのようなものか?**

地球温暖化の切り札として、石炭火力のかわりに、再生可能エネルギーの開発が行われてきました。

再生可能エネルギーとは「エネルギー源として永続的に利用することができる」と認められるもの」と法律で定められています。太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱、その他の自然熱に存在する熱とバイオマスが定義されています。

再生可能エネルギーは、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない、優れたエネルギーです。その中でも、最も手間が掛からず、比較的安価に実現出来るエネルギーとして、太陽光発電が注目されてきました。

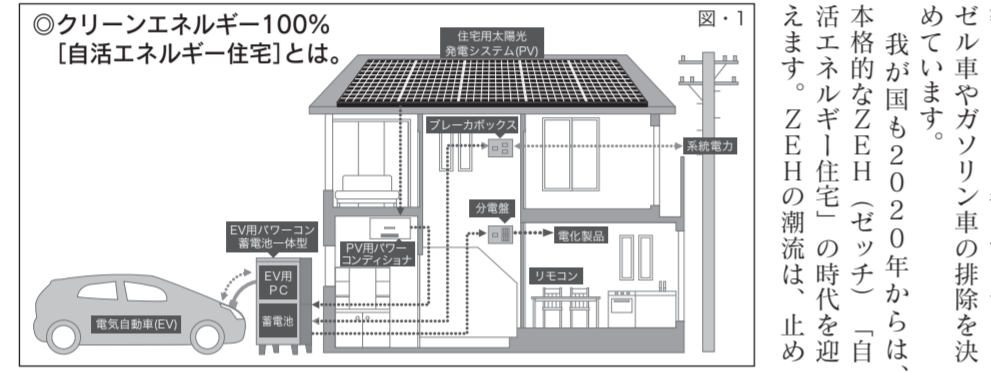
我が国の場合は、歴代政府が原子力発電を主力に考えてきましたが、東日本大震災の原発事故においても2012年7月に

開始されたFIT(固定価格買取)取り制度で一気に太陽光発電を採用した35万世帯と産業用太陽光発電が、原子力発電の全停止期間の電力を賄う力になり、原子力発電に頼らなくても、自然エネルギーで賄う事が可能であることを実感しました。

我が国では、発電しながら燃料を創り出すという高速増殖炉「もんじゅ」の夢の技術に過信してしまいましたが、世界の潮流は原子力から、再生可能エネルギーに急速にシフトし、ドイツから始まった潮流は、世界一の環境汚染国、中国を巻き込んでE.V(電気自動車)時代の幕開けを告げています。

**売電中心の太陽光発電から、自活エネルギー住宅の時代に。**

厳しい環境汚染に晒されている中国は、自動車産業のE.V化と環境汚染を解決し、世界一の太陽光パネル生産国、強みを活かす、急速に自動車のE.V化を義務付け、イギリスやフランス



**「自活エネルギー住宅」とは、どんな住宅なの?**

松下建設の「ハイブリッド・エコ・ハートQ」の様な高性能住宅の場合、5KW程度で住宅1棟の自活エネルギー住宅を実現させることが出来る。

太陽光発電で発電した電力はE.V用パワーコンディショナでE.Vと蓄電池に供給される。10年以内に、住宅とE.V自動車と蓄電池、家庭用蓄電池の10倍以上の蓄電能力を持つE.V自動車や、家庭用電源の中心的な役割を果たす事になるでしょう。災害等で系統(電力会社)電力が停止しても、1週間はE.V自動車や蓄電池の電力で生活することが可能です。

実際には、系統電力はほとんど使用しなくなると思われますが、経済産業省でも災害対策などで、蓄電能力が高いE.V自動車を連結して災害時の非常電力

**◎今すぐに太陽光発電を搭載しなくても、将来に備えた準備は必要です。**

●すでに始まっている受賞実験例

**自活エネルギー共有システム**

●太陽光発電の概算

1kWあたりの1日の発電量	
平均2.5kWh~3.8kWh程度	(地域ごとに異なる)
1kWあたりの年間発電量	
平均900~1400kWh程度	(地域ごとに異なる)
一般家庭の太陽光発電搭載kW数	
平均3kW~5kWが標準	
家族数と必要な太陽光kW数	
3kW	1~2人位の小家族
4kW	3~4人の中家族
5kW	5人以上の大家族
更にE.V用+αが理想	

●平均発電量

月	1日の発電量(kWhあたり)
1月	2.86kWh/日
2月	3.28kWh/日
3月	3.50kWh/日
4月	3.90kWh/日
5月	3.90kWh/日
6月	3.29kWh/日
7月	3.48kWh/日
8月	3.76kWh/日
9月	3.40kWh/日
10月	3.20kWh/日
11月	2.70kWh/日
12月	2.65kWh/日

**未来型「自活エネルギー共有システム」**

上図・2は、10棟の最小規模の例ですが、これが数十棟単位で運営されるならば、かなり効果的なシステムとなります。

図では、系統(電力会社)電力に繋がっていますが、今後は住宅用は地域の共同体で賄い、系統電力は産業用にと、電力の棲み分けが行われます。

共同体の中心となる、コンビニなどに「中央管理センター」を設置し非常用の蓄電池・発電装置を併設して、系統と「自活エネルギー共有システム」を繋いでコントロール・運営を行います。この様な民間の再生エネルギーシステムの集積が地球温暖化の切り札になるのかも知れません。

現在、太陽光発電システムは、1KW(30万円)程度と言われていますから、5KWで150万円程度の出費になりますが、オール電化が200万円前後で実現するのであれば、決して高い買い物ではありません。

この様なシステムは、既に大手のデベロッパーによって繰り返し実験されています。また、山村でもガソリンスタンドが廃業し、給油できないので、E.V自動車を太陽光発電で充電しています。

これが新しい太陽光発電の現状です。ZEHは売電目的ではなく、自活エネルギーとして考えて下さい。そのためにも重要な個性は、省エネ住宅を建てることです。どうか松下建設で高性能住宅を検討し、ZEHを採用して下さい。

# 未来型「自活エネルギー共有システム」

**脱原発の世界的な流れは止まらない、E.Vが主流となる世界の流れが鍵となる。**

**太陽光発電の「2019年問題」というなる買取終了後の太陽光発電の行方。**

等も、2030年までにディーゼル車やガソリン車の排除を決めています。

我が国も2020年からは、本格的なZEH(ゼッチ)「自活エネルギー住宅」の時代を迎えます。ZEHの潮流は、止めることが出来ない流れになっています。

脱原発の世界的な流れは止まらない、E.Vが主流となる世界の流れが鍵となる。

我が国では、発電しながら燃料を創り出すという高速増殖炉「もんじゅ」の夢の技術に過信してしまいましたが、世界の潮流は原子力から、再生可能エネルギーに急速にシフトし、ドイツから始まった潮流は、世界一の環境汚染国、中国を巻き込んでE.V(電気自動車)時代の幕開けを告げています。

厳しい環境汚染に晒されている中国は、自動車産業のE.V化と環境汚染を解決し、世界一の太陽光パネル生産国、強みを活かす、急速に自動車のE.V化を義務付け、イギリスやフランス

## 中山展示場Ⅲ 公開中!



中山展示場ⅢはHEAT20の断熱性能G2レベル5・6地域基準で建てられ、屋根形状はパラペットの四角形状で、2020年の「省エネルギー基準」の義務化に対応する高性能住宅です。現在の省エネルギー基準と比較すると約2倍以上の断熱性能があります。これから始まる住宅の高性能化時代に先鞭を付ける、画期的な展示場です。季節の移り変わりに是非、この展示場をお尋ね下さい。寒さや暑さを感じる事なく、いつでも快適で爽やかさを感じて頂けるはず。尚、展示場Ⅲ・Ⅴでは、ISO(国際基準)のPMVの測定で、快適性を測定し、本物の快適性をご来場の皆様に体感していただく予定です。皆様のご来場を心からお待ち申し上げます。

## 中山展示場Ⅴ 公開中!



中山展示場ⅤはHEAT20の断熱性能G2レベル、7地域基準で建てられていますが、現状の省エネ基準の2倍弱の性能があります。屋根形状は三角形で、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)対応型にしました。2020年までに松下建設が建てる住宅の半数がZEHでの建設予定です。住宅性能が高い分、太陽光発電システムの搭載を最少に出来ること、最も電力消費の大きい、暖冷房コストも抑えることが出来ます。これから住宅に求められる省エネルギーとEV(電気自動車)などの燃料エネルギーを住宅が創り出す、創エネ時代の魁となる展示場です。住宅の快適性を最大限に高め、未来の生活スタイルを先取りした最先端の展示場を是非、皆様で体感して下さい。

## 加世田展示場 公開中!



加世田展示場は将来、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の為に太陽光パネルが取り付けられる様に大屋根構造になっています。また、新しく開発された新型暖冷房空調システムが取り付けられており、夏も冬も低温空調による省エネルギーで快適なシステムが稼働する予定です。平屋感覚の住宅ですが、屋根構造を活かして一室だけ2階に居室が設けられています。大きな開口部と大屋根の今までの加世田にはない全く新しいコンセプトで設計された住宅ですから是非、ご覧頂きたいと思えます。この展示場で新しい松下建設に出会えることと存じますので、ご家族の皆様でお越しください。心からお待ち申し上げます。

## 薩摩川内展示場 販売受付開始!



松下建設のHybrid eco-heart Q工法は、充填断熱と外張り断熱のW断熱工法です。外張り断熱には、遮熱シートが貼られ、住宅が蓄熱されるのを防ぎます。内側の充填断熱は外部の影響を受けにくいので、保冷材として室内の急な温度変化を防ぎ、また、気密性が高いので、室内の涼しい空気が必要以上に外部へ逃げていくのを防いでいます。松下建設が標準採用している第三種換気システムは、家全体の空気を動かし、エアコン一台でも温度差の少ない、快適な室内空間を実現しています。

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎0120-079-089



外観



リビング

吹き抜け



キッチン・ダイニング

「外観は普通の平屋建てですが、玄関を開けて中に入られると玄関の広さに驚かれる様です。冬は包みこまれる様な暖かさに、しばし目を開いています。次に本格的な和室、そして吹き抜けの様に天井の高いリビング、皆さん本当に驚かれています」と奥さま。

最後にこれから住宅を建てられる方にアドバイスをお願いします。

今回お伺いしたK邸は、ご両親と高校生のお嬢様に中学生のご長男、7才違いの男の子2人の6人家族。この両親と2人のおぼっちゃまに迎えていただきました。

ご主人に、お伺いすると「他の建築会社の展示場を見学した帰り道に、松下孝建設の展示場を発見し、ここにも展示場がある」と、ついでに見学したのがきっかけでした。

「多趣味なご主人は、妥協しないことや、今まで見学してきた施工店の良い所を取り入れて頂けるのか、私達の設計に当たっては、どの様な依頼をされたのでしょうか。」

「外観は普通の平屋建てですが、玄関を開けて中に入られると玄関の広さに驚かれる様です。冬は包みこまれる様な暖かさに、しばし目を開いています。次に本格的な和室、そして吹き抜けの様に天井の高いリビング、皆さん本当に驚かれています」と奥さま。

「外観は普通の平屋建てですが、玄関を開けて中に入られると玄関の広さに驚かれる様です。冬は包みこまれる様な暖かさに、しばし目を開いています。次に本格的な和室、そして吹き抜けの様に天井の高いリビング、皆さん本当に驚かれています」と奥さま。

「外観は普通の平屋建てですが、玄関を開けて中に入られると玄関の広さに驚かれる様です。冬は包みこまれる様な暖かさに、しばし目を開いています。次に本格的な和室、そして吹き抜けの様に天井の高いリビング、皆さん本当に驚かれています」と奥さま。

「今回お伺いしたK邸は、ご両親と高校生のお嬢様に中学生のご長男、7才違いの男の子2人の6人家族。この両親と2人のおぼっちゃまに迎えていただきました。」

「今回お伺いしたK邸は、ご両親と高校生のお嬢様に中学生のご長男、7才違いの男の子2人の6人家族。この両親と2人のおぼっちゃまに迎えていただきました。」

「今回お伺いしたK邸は、ご両親と高校生のお嬢様に中学生のご長男、7才違いの男の子2人の6人家族。この両親と2人のおぼっちゃまに迎えていただきました。」

「今回お伺いしたK邸は、ご両親と高校生のお嬢様に中学生のご長男、7才違いの男の子2人の6人家族。この両親と2人のおぼっちゃまに迎えていただきました。」

「今回お伺いしたK邸は、ご両親と高校生のお嬢様に中学生のご長男、7才違いの男の子2人の6人家族。この両親と2人のおぼっちゃまに迎えていただきました。」

「今回お伺いしたK邸は、ご両親と高校生のお嬢様に中学生のご長男、7才違いの男の子2人の6人家族。この両親と2人のおぼっちゃまに迎えていただきました。」

「松下孝建設」のお施主様にお聞きしました。お施主様 K邸 (6人家族) 建設地 いちき串木野市



ご家族の皆様

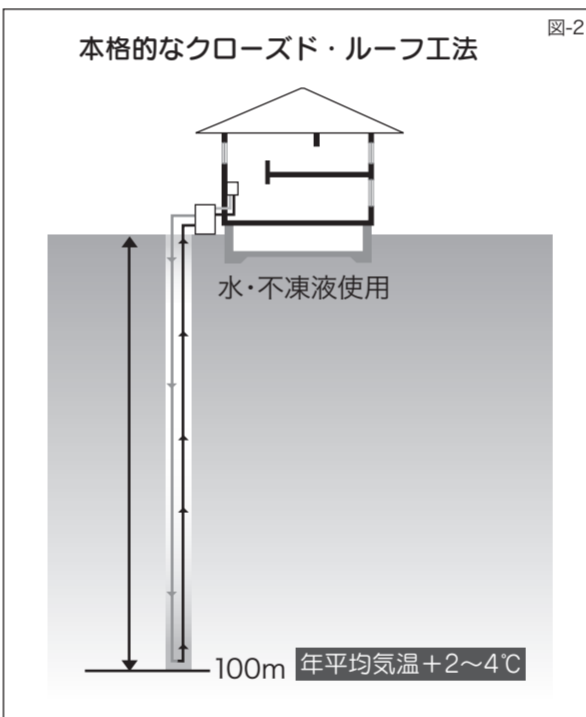


和室

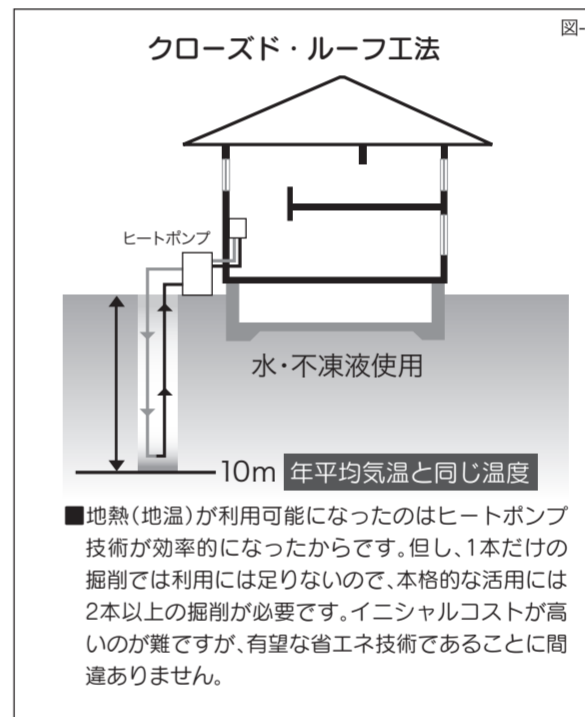
HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY 2017 ハイブリッド・エコ・ハートQ 「特別優秀賞」・「特別優秀企業賞」W受賞!!

住宅造りに失敗しない工法の基礎をお知らせ致します。松下孝建設が発刊した「百年住宅を建てる知識」を紹介致します。

地中熱は掘削に費用がかかりすぎるため、掘削が必要な工事が伴う場合、便乗するのが最良である。



本格的なクローズド・ルーフ工法



クローズド・ルーフ工法

地中熱の特徴は、一年中温度が変わらないことです。例えば地中熱が20℃の場合を想定すると、冬季の場合、そのまま暖房に使えますし、夏の場合もそのまま冷房に使うことが出来ます。

53 地中熱の活用は、燃料が必要ない事と安定した温度が得られること。何かが、本物とは、百年住宅を建てる知識?